

取扱い	解禁日まで非公開
ラジオ・テレビ・インターネット 新聞	令和4年7月28日(木) 17:00以降 令和4年7月29日(金) 朝刊

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 実施概要

(1) 実施日 令和4年4月19日(火)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

※ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問われた。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査 (Webによる回答)

※ 学校質問紙において、令和3年度の新型コロナウイルス感染症への対応に関する項目として、臨時休業や学校教育活動の実施状況について問われた。

(4) 実施校数 悉皆調査

	調査対象 学校数	調査実施校	
		19日に調査を 実施した学校数	19日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	217	216	1
義務教育学校(前期課程)	2	2	0
特別支援学校(小学部)	2	1	0
市町立中学校	93	92	1
義務教育学校(後期課程)	2	2	0
県立中学校	3	3	0
特別支援学校(中学部)	3	2	0
公立学校計	322	320	

2 教科に関する調査の結果概要(公立)

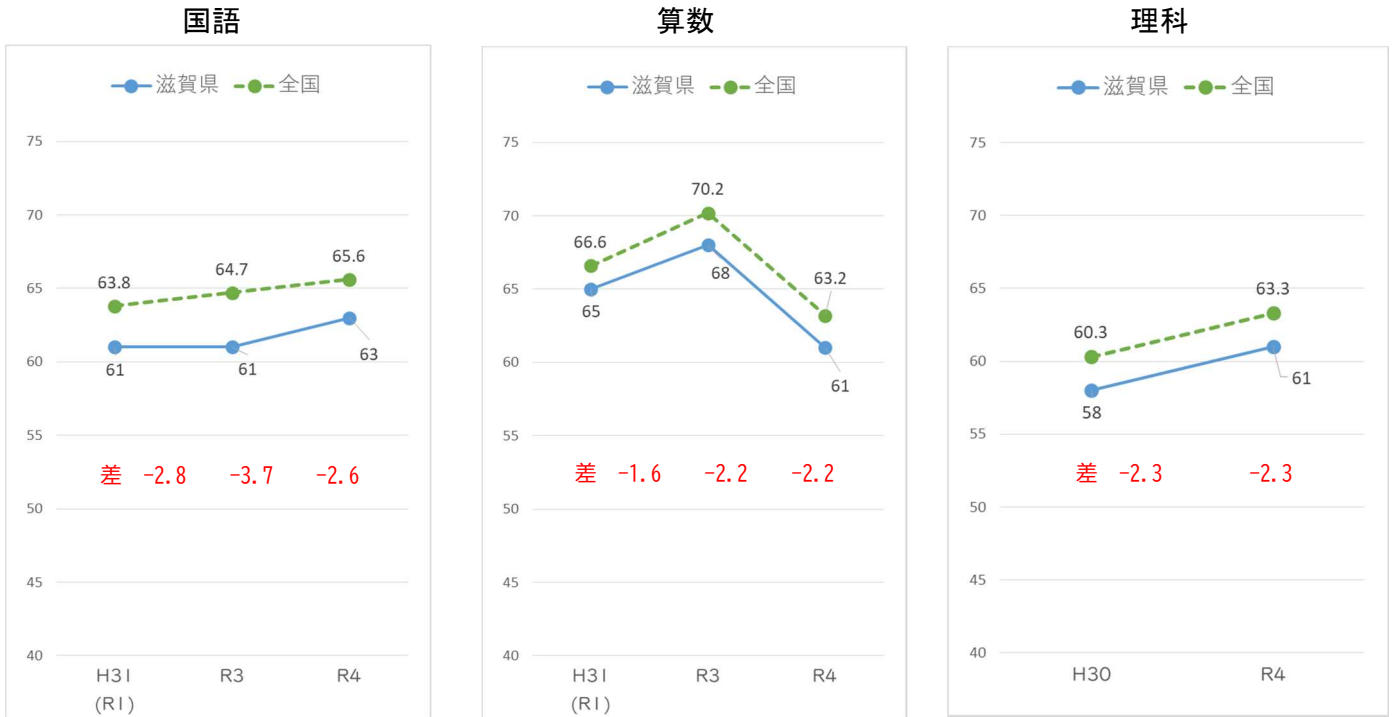
○各教科における本県と全国の平均正答数と平均正答率(%)

	教科	平均正答数/設問数		全国との差	平均正答率		全国との差
		本県	全国		本県	全国	
小学校	国語	本県	8.9/14	-0.3	本県	63	-2.6
		全国	9.2/14		全国	65.6	
	算数	本県	9.7/16	-0.4	本県	61	-2.2
		全国	10.1/16		全国	63.2	
	理科	本県	10.3/17	-0.5	本県	61	-2.3
		全国	10.8/17		全国	63.3	
中学校	国語	本県	9.5/14	-0.2	本県	68	-1.0
		全国	9.7/14		全国	69.0	
	数学	本県	7.2/14	0.0	本県	51	-0.4
		全国	7.2/14		全国	51.4	
	理科	本県	10.1/21	-0.3	本県	48	-1.3
		全国	10.4/21		全国	49.3	

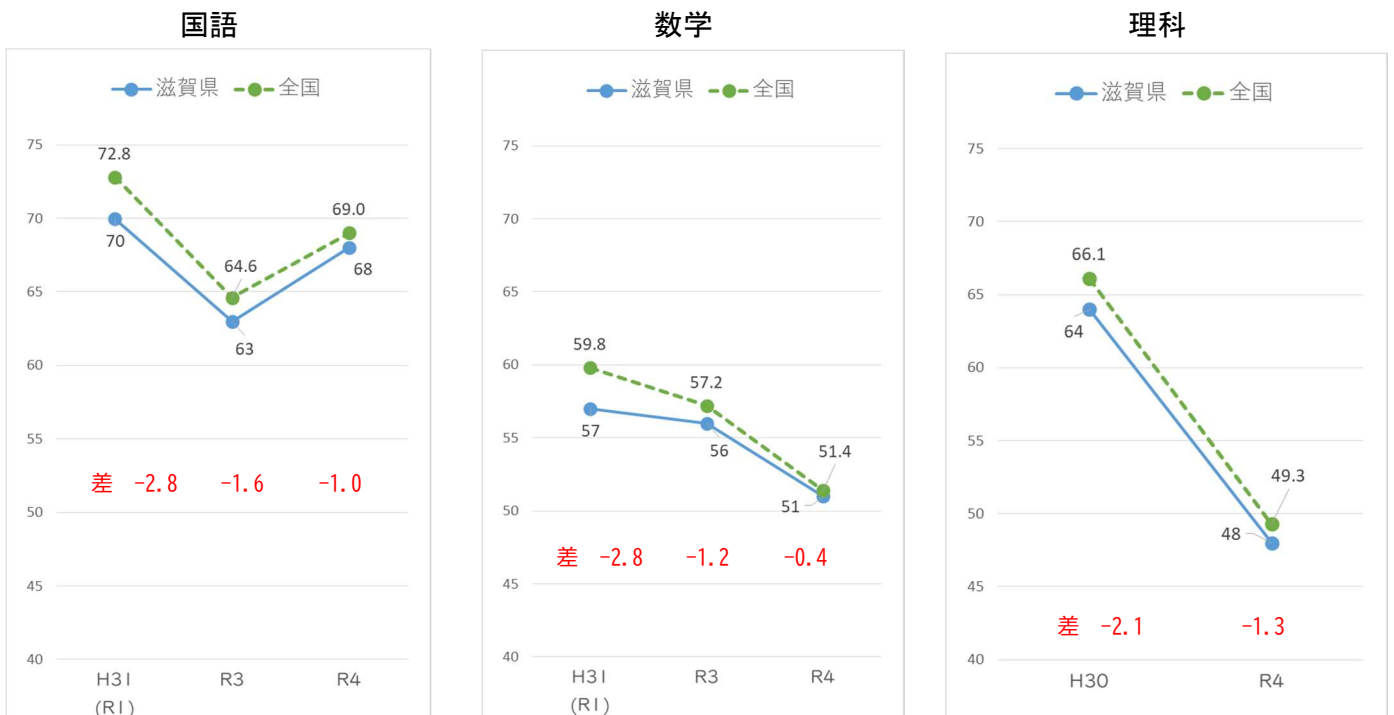
○ 平成 31 年度から令和 4 年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移

平成 31 年度から、主として「知識」に関する問題（A問題）と、主として「活用」に関する問題（B問題）という区分を見直し、知識・活用が一体的に出題された。理科の調査については、前回は平成 30 年度に実施された。令和 2 年度の調査は、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮し、実施されなかった。

【小学校】＜平均正答率の経年変化＞



【中学校】＜平均正答率の経年変化＞



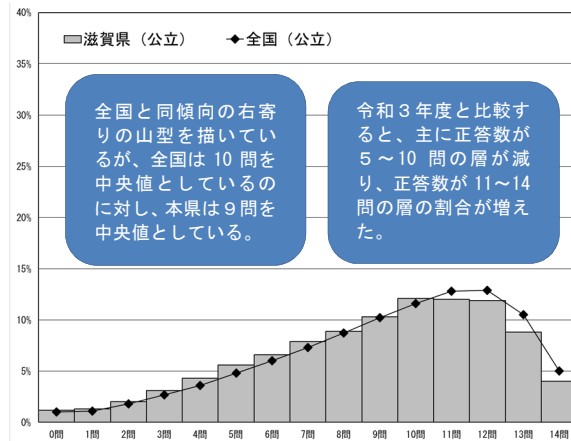
【国語】

小学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「話すこと・聞くこと」における「聞くこと」の設問の平均正答率は83.9%であり、全国平均とほぼ同等であった。
 - ・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができた。
- 「書くこと」における記述式の問題では、全国の平均正答率を3.5%下回った。
 - ・伝え合ったことを基に、自分の文章のよいところをまとめて書くことに課題が見られた。
- 漢字の書き取りの設問において、全国の平均正答率を最大で4.9%下回った。
 - ・漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連でみると…

「話すこと・聞くこと」の設問では、話し合う場面において、友達が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができていた。

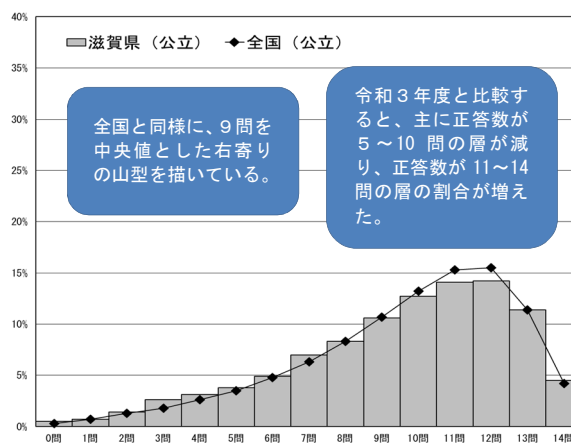
「書くこと」の設問では、友だちと伝え合った感想や意見を基に、自分の文章のよさに気付き、文章で表現することに課題が見られた。

中学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「書くこと」における平均正答率は47.6%であり、全国平均を1.1%上回った。
 - ・自分の考えが伝わる文章になるように、資料の一部から必要な情報を引用して、根拠を明確にして書くことができた。
- 「我が国の言語文化に関する事項」における平均正答率は67.5%であり、全国平均を2.7%下回った。
 - ・「書写」において、行書の特徴（「筆順の変化」や「点画の省略」など）の理解に課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連でみると…

「書くこと」の設問では、資料から目的に応じて必要な情報を取り出し、引用することができていた。

「話すこと・聞くこと」の設問では、友達との交流の中から得た助言を基に、深まった自分の考えを記述によって表現することに課題が見られた。

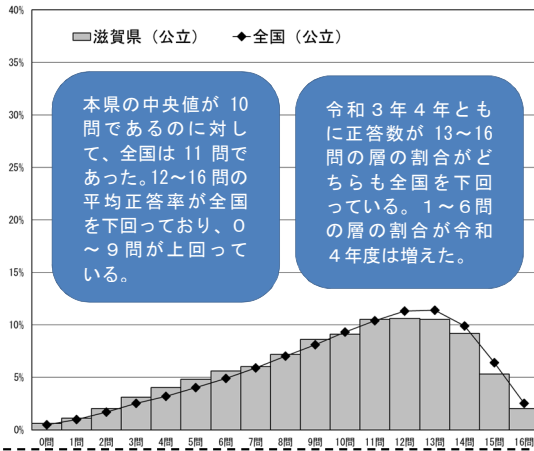
【算数・数学】

小学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「数と計算」と「図形」の領域では、全国平均をどちらも2.3%下回った。昨年度と比較すると、それぞれ1.1、1.4%の改善が見られた。
 - ・除法を用いることで答えが導きだせる理由を説明することや、長方形の性質について理解している。
- 「変化と関係」の領域では、全国平均を3.0%下回った。
 - ・飲み物の量が変わっても果汁の割合は変わらないことへの理解に課題が見られた。
 - ・比例の関係にあることを用いて、答えの求め方を式や言葉で説明することについて課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

「データの活用」の領域において、目的に応じてグラフを選択することはできたが、必要な情報を読み取ることに課題が見られた。

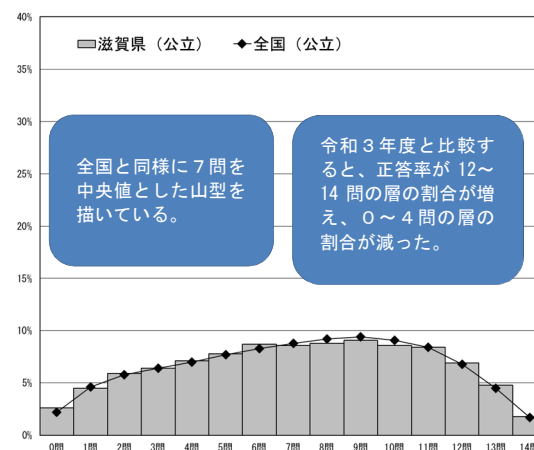
「変化と関係」の領域において、伴って変わる二つの数量の間にある比例の関係を用いて、未知の数量を求めることはできたが、他者が考えた式や記述をもとに、求め方を式や言葉で説明することに課題が見られた。

中学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「数と式」の領域では、全国平均を0.9%上回った。また「図形」の領域では、全国との差はなかった。
 - ・自然数を素数の積で表すことができるかをみる設問で9.5%上回った。また、反例の意味を理解しているかをみる設問で0.8%上回った。
- 「関数」と「データの活用」の領域では、全国平均をそれぞれ1.2、1.8%下回った。
 - ・一次関数の変化の割合について意味の理解に課題が見られた。
 - ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

「データの活用」の領域（コマ回し）の設問において、データの傾向を読み取ってはいるが、判断の根拠として適切なものを取り出すことに課題が見られた。

「数と式」の領域（2つの偶数の和）の設問において、目的に応じて式を変形し、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られた。

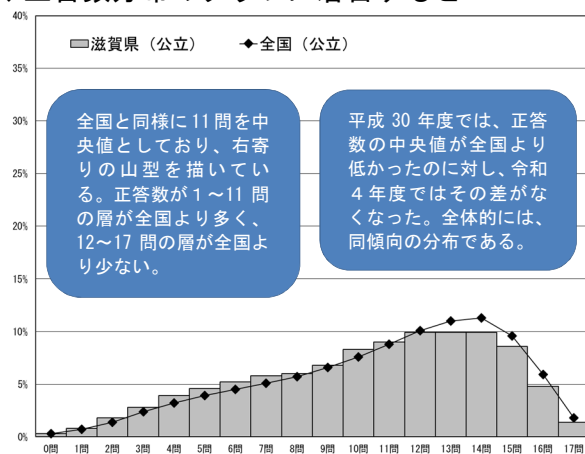
【理科】

小学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「生命」の領域の平均正答率は72.9%であり、全国平均を2.1%下回った。
 - ・生物の観察から疑問をもち、予想や仮説を基に解決の方法を発想することができた。
 - ・与えられた表を基に、生物の特徴から分類することができた。
- 「粒子」と「地球」の領域では、全国平均をそれぞれ3.5%、3.0%下回った。
 - ・実験器具の名称を正しく覚え書くことや、科学的な言葉や概念を日常生活に関連付けながら理解することに課題が見られた。
 - ・実験結果の分析から自分の考えをもち、その考えを記述することに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

提示された資料を、複数の視点で分析して解釈する設問において、資料から必要な情報を読み取り、差異点や共通点を見いだして、分析、整理することができていた。

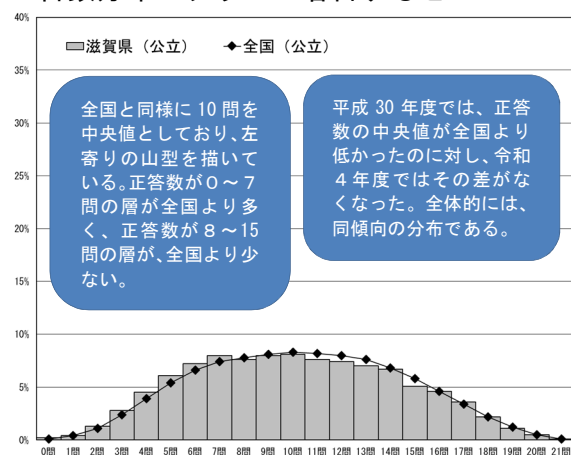
自然の事物・現象から得た情報を、他者とのやりとりを通して分析、整理し、自分の考えをまとめ、記述することに課題が見られた。

中学校

◆内容・領域や評価の観点、問題形式ごとに分析すると…

- 「粒子」の領域の平均正答率は50.2%であり、全国平均とほぼ同等であった。
 - ・分子をモデルで表した図を基に、化学反応式について理解することができた。
- 記述式の問題における平均正答率は全国平均を、3.1%下回った。
 - ・物体に働く重力とつり合う力について説明することに課題が見られた。
 - ・水素を燃料として使うしくみに関して、「粒子」と「エネルギー」の領域の知識を関連付け、解釈することに課題が見られた。
 - ・実験結果の考察の妥当性を高めるために、必要な再実験を考えることに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

図や表、モデルなどを基に、情報を正しく読み取り、観察、実験の内容について分析・整理することができていた。

記述形式の設問において、既習の知識や概念を用いて、未知の事物・現象について筋道を立てて考え、説明することに課題が見られた。

3 質問紙調査の結果概要

○児童生徒質問紙調査

- ・質問項目数は、小中学校ともに 69 項目であり、昨年度と同数であった。
- ・学校での ICT 機器の活用頻度を尋ねる項目が細分化され、具体的な場面ごとに尋ねられている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業期間中のことを尋ねる項目は削除された。

○学校質問紙調査

- ・質問項目数は、小学校 85 項目（昨年度より 17 項目減）、中学校 83 項目（昨年度より 19 項目減）となった。
- ・小中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響を調査するための質問項目が 3 項目あった。

(1) 「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」における 3 つの視点の指標項目等

質問項目に対して、4 つの選択肢の中から肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「よく行った」、「どちらかといえば行った」等）を選択した割合（％）を示した。

① 視点 1 「学びを実感できる授業づくり」

質問項目	校種		R3 調査	R4 調査	前回調査との比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	76.6	76.5	-0.1
		全国	78.2	77.3	-0.9
	中	本県	80.7	77.1	-3.6
		全国	81.0	79.2	-1.8
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	62.0	65.0	+3.0
		全国	63.5	65.4	+1.9
	中	本県	58.0	58.0	0.0
		全国	62.0	63.3	+1.3
5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。 [児童生徒質問紙] *1	小	本県	12.7	26.4	+13.7
		全国	11.2	26.7	+15.5
	中	本県	10.8	23.2	+12.4
		全国	7.4	21.6	+14.2
あなたの学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか。 [学校質問紙] *1 *2	小	本県		57.1	
		全国		58.2	
	中	本県		53.5	
		全国		55.5	

*1 ICT 機器の使用に関する質問項目は、「ほぼ毎日」を選択した割合を示した。

*2 R3 調査の欄に斜線が入っている質問項目は、令和3年度に実施されていない。

② 視点2 「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」

質問項目	校種		R3調査	R4調査	前回調査との比較
将来の夢や目標を持っていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	78.5	77.4	-1.1
		全国	80.3	79.8	-0.5
	中	本県	65.0	64.1	-0.9
		全国	68.6	67.3	-1.3
学級の友達との間／生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	78.9	80.0	+1.1
		全国	78.8	80.1	+1.3
	中	本県	76.6	76.8	+0.2
		全国	77.8	78.7	+0.9
人が困っているときは、進んで助けていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	89.0	89.0	0.0
		全国	88.7	88.9	+0.2
	中	本県	87.4	87.1	-0.3
		全国	88.5	88.4	-0.1
学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか。 [学校質問紙]	小	本県	99.5	99.1	-0.4
		全国	98.7	98.7	0.0
	中	本県	98.0	99.0	+1.0
		全国	98.6	98.1	-0.5

③ 視点3 「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」

質問項目	校種		R3調査	R4調査	前回調査との比較
児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行いましたか。[学校質問紙]	小	本県	85.5	85.9	+0.4
		全国	82.4	83.6	+1.2
	中	本県	77.4	72.7	-4.7
		全国	77.7	78.6	+0.9
前年度までに、近隣等の小/中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。[学校質問紙]	小	本県	50.0	42.0	-8.0
		全国	59.1	52.7	-6.4
	中	本県	54.9	49.5	-5.4
		全国	65.0	61.1	-3.9
保護者に対して児童〔生徒〕の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか。 [学校質問紙] *2	小	本県		91.3	
		全国		92.4	
	中	本県		79.8	
		全国		86.7	

*2 R3調査の欄に斜線が入っている質問項目は、令和3年度に実施されていない。

(2) 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目（児童生徒質問紙）

○朝食の摂取

朝食を毎日食べている。					
【小学校】					
	85.9		9.5	3.4	1.1
	84.9		9.5		1.4
				4.1	
【中学校】					
	80.6		12.1	5.0	2.2
	79.9		12.0	5.4	2.7

○就寝時刻

毎日、同じくらいの時刻に寝ている。					
【小学校】					
	39.2		41.9	15.3	3.4
	40.7		40.8	15.0	3.4
【中学校】					
滋賀県（公立）	33.8		45.3	16.6	4.2
全国（公立）	37.0		42.9	16.3	3.7

○家庭学習の時間

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 （学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットで学ぶ時間も含まれます。）					
【小学校】					
	8.2	13.7	34.0	28.4	11.5
	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5
【中学校】					
	9.5	23.2	33.1	18.8	10.6
	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5

